

単元の展開計画（23時間扱い）

| 過程 | 時 | 予想される活動内容 | 主な支援（）と評価（） | 活動形態 | 支援体制 | 場所 |
|------|---|---|--|------|---------------|--------|
| ふれる | 1 | ・自分の知っている地域のプロを作業用紙に書く。 | 数名例示し、参考にさせる。 思い浮かべられない児童には、家族や近所に住む人などをよく思い出すよう話をしたり、個別に相談にのったりして支援する。 自分の知っている地域のプロを作業用紙に書こうとしていたか。 | 学年 | TT | 視聴覚室 |
| つかむ | 2 | ・地域のプロを知りテーマを考える。 | 児童が調べてきた地域のプロの名前とその専門的な知識や技能を一覧表にし、児童がテーマを考えやすいようにしておく。 テーマの決まらない児童には、どんなことを学んでみたいのかを聞くなどして、個別に支援する。 地域のプロを知り、テーマを考えることができたか。 | 学年 | TT | 視聴覚室 |
| | 3 | ・テーマごとにグループを作り、学習計画を立てる。 *梅干し作り *よさこい大平 *昔のおもちゃ作り *米作り *編み物 *コママわし *ハープ作り *そば打ち など18グループ | テーマ設定の理由を明確にさせ、今後の学習の見通しをもたせる。 テーマにせまるための見通しをもちながら学習計画を立てることができたか。 地域のプロに教えていただくための活動を確認させる。 ・電話のかけ方 ・約束の仕方 ・教えていただく態度など 地域のプロに教えていただくための活動を確認することができたか。 | 学年 | TT | 視聴覚室 |
| 調べる | 5 6 7 8 9 10 11 12 | ・テーマにもとづいて体験活動や調べ活動をする。 | 事前に、それぞれのグループの活動場所（学校、地域のプロのお宅等）を把握しておく。 活動場所の確保や校外での移動の安全確認をしておく。 遠方へ出掛けるグループには、保護者への協力を依頼しておく。 各担当の活動場所へ行き、地域のプロと協力しながら、児童の相談にのったり助言したりするなどして、適宜、支援する。 体験活動や調べ活動を友達と協力しながら意欲的に行うことができたか。 | グループ | 地域のプロ 担当教師 | 大平町各場所 |
| まとめる | 13 14 | ・活動してきたこととをパネル（模造紙）にまとめる。 | パネルは書く形式（テーマや活動内容）など決め、活動報告程度のものとする。 自分たちが活動してきたことを分かりやすく表現できるよう写真なども効果的に活用するように助 | グループ | 担当教師 | 各教室 |

単元の展開計画（23時間扱い）

| 過程 | 時 | 予想される活動内容 | 主な支援（）と評価（） | 活動形態 | 支援体制 | 場所 |
|----------------------|---|---|--|------|------|-----|
| まとめる | | | 言する。 グループごとに、自分たちが活動してきたことを分かりやすくまとめていたか。 | グループ | 担当教師 | 各教室 |
| 15 | ・お互いにパネルを見合って、気付いたこと（メッセージ）を書きパネルに貼る。 (パネルチャット) | 2色の付箋紙を用意し、色別によいところとさらに学習を深めた方がよいところなどを書かせパネルに貼るせて、今後、学習計画を見直したり修正したりしやすいようにする。 前半は各自が決められたグループのパネルを、後半は自分の興味があるテーマに取り組んでいるグループのパネルを見てもよいこととし、全てのグループが友達からメッセージをもらえるように配慮する。 他のグループのよいところを認めるとともに、適切なアドバイスをしようとしていたか。 | 個人 | TT | 視聴覚室 | |
| 16 | ・今までの活動を振り返り、学習計画を見直したり修正したりする。 ・発表方法を考える。 | 他のグループの友達からのメッセージをもとにして、発表会に向けての改善点やさらに調べた方がいいことなどを話し合わせる。 友達からのメッセージをもとに、今後の学習計画を見直したり修正したりすることができたか。 自分たちの活動がわかるような発表方法を考えさせる。 発表方法の具体例を示し、参考にさせる。 自分たちの活動がわかるような発表方法を考えようとしていたか。 | グループ | 担当教師 | 各教室 | |
| 17 18 19 20 | ・テーマをもとに、 体験したことや調べたことを発表する準備をする。 *実演する。 *実物を活用する。 *模造紙にまとめる。 *紙芝居にする。 *クイズにする。 | 自分たちの活動が分かるように表現を工夫しているグループを賞賛したり、紹介したりすることにより意欲的に活動できるようにする。 地域のプロへ発表会の招待状を書かせる。 グループごとに表現方法を工夫して発表の準備をしているか。 | グループ | 担当教師 | 各教室 | |

単元の展開計画（23時間扱い）

| 過程 | 時 | 予想される活動内容 | 主な支援（）と評価（） | 活動形態 | 支援体制 | 場所 |
|----|-----|-----------------------|--|------|------|------|
| | 2 1 | ・お互いの作品を見合って、意見交換を行う。 | お世話になった地域のプロにも、発表を見ていただく。 | 個人 | TT | 視聴覚室 |
| | 2 2 | | <p>メッセージ第3集P.6～7の読み聞かせをする。</p> <p>各グループの発表者を前半と後半に分けて発表会を行う。</p> <p>発表のよいところや夏休みなどをを利用して、さらに深めて欲しいことなどの意見交換をさせる。</p> <p>分かりやすい発表をしようとしていたか。</p> <p>友達の発表を真剣に聞き、意見交換をしていたか。</p> | | | |